

# 大玉スイカ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大型 トンネル栽培			☉	※	●	☐						
普通栽培			☉	※	●	☐						

## 特性と品種

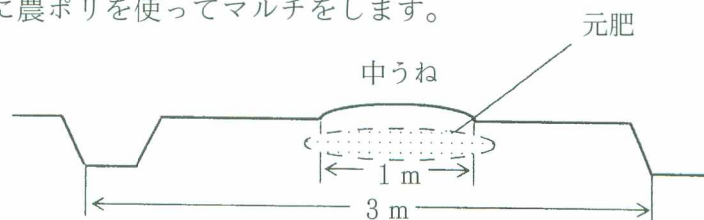
高温を好み、乾燥に強いのですが、多湿や日照不足に弱い作物です。

たねまきが遅れ、成熟期が9月中旬以降になりますと、温度が不足して成熟しません。

大玉スイカでは、大型トンネル栽培にファインエース、また小型トンネル栽培では富士光などが用いられています。小玉スイカでは、紅小玉が栽培されています。

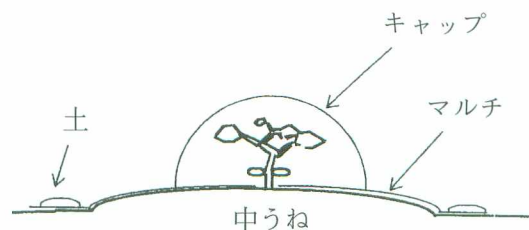
## 畑の準備

- ①畑全面に石灰及び堆肥を施し、荒起こし、碎土します。
- ②幅3mのうねを作ります。
- ③うねの中央部に元肥を施し、土とよく混ぜて、幅1mの中うね（最終的にうねが中高になる程度）を作ります。
- ④うねが出来たら、土が乾かないうちに農ポリを使ってマルチをします。



## 植えつけ

- ①マルチをした中うねの中央部に間隔1m毎に直径15cmの植え穴を作ります。
- ②植えつけは、温暖無風の日を選んで行います。
- ③植えつけ後、かん水をして、キャップまたはビニールトンネルをかけます。
- ④植えつけ後、2週間位は密閉しておきますが、その後は徐々に換気の程度を大きくしていきます。



## 人工授粉

- ①人工授粉は、開花して間もない早朝がよく、雄花の花粉を確かめて午前中にします。
- ②適熟収穫をするために、果実が鶏卵大になった時に、日付けを表示します。

## 摘果

着果後10日～15日位、果実が鶏卵大の時に、右図を参考にして株当たり適正な果数に摘果します。



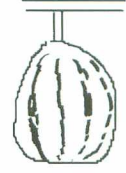
摘果する

丸い果実は、  
小果や空洞果  
になりやすい



残す果実

長味のある楕  
円形の方が  
よい



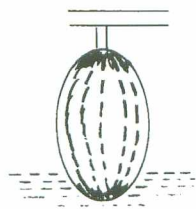
摘果する

果形が整ってい  
ないものは肥大  
しても奇形果に  
なりやすい

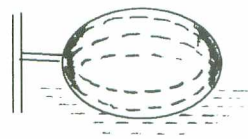
## 玉直し

果痕部からの病害の進入を防ぐとともに、果実の形状を整え、果皮色のムラをなくすために玉直しをします。

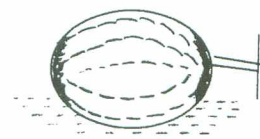
玉直しは下図の手順で、原則として摘果時、着果後30日、収穫10日前の3回行います。



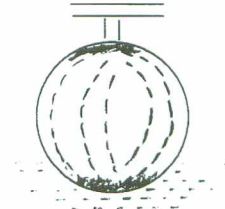
着果



着果後15日



着果後30日、反  
対側にします



収穫10日

## 収穫

着果してから収穫までの日数は、5月着果の場合は約40～45日、6月着果では35～40日位が目安です。

小玉種は、5～7日早く収穫します。

## コメント

### ☆育て方のポイント

連作や休作期間の短い畑では、ツル割れ病が発生しやすいので、接ぎ木苗が安全です。

着果以前の施肥は控えめにして、ツルの生長が旺盛になるのを防ぎます。

着果は15節以上の節位を目標とし、変形果や空洞果になるのを防ぎます。

### ☆食べ方

◆シャーベット … 果実を凍らして食べます。

◆氷アイス …… 果実を切り出し、かき氷と蜜をかけて食べます。

◆スイカ糖 …… 果実を煮詰め、飴のようにしたものを瓶詰めにすれば、2～3年もちます。

◆果皮は煮物や漬け物に利用します。